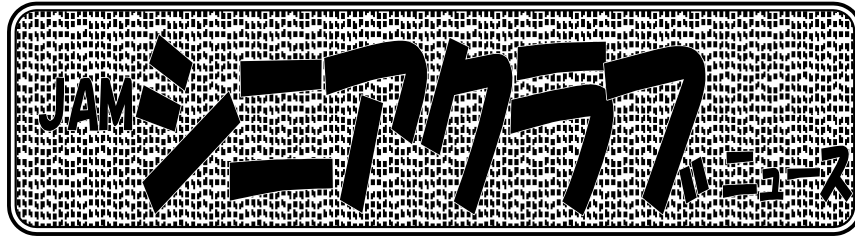


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第203号

発行日 2024年11月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

千葉 定期総会を開催

蝦名秀信 通信員

2025年度千葉シニア
クラブ定期総会が10月8日、



「ホテル・ポートプラザ」で開催されました。霧雨が降るやや寒い日でした。10月9日衆院解散と、皆が知っている日でもあります。総会の内容は衆院選挙に勝利して2025年7月の参議院選挙の「郡山りよう」必勝決議、教育費負担軽減等含む活動方針を満場一致で採択されました。長岡会長の「がんばろう三唱で総会を閉会しました。」

東京 定期総会を開催

平木和裕 幹事

会食を行いました。第1部は緊迫感があり、引き締まる雰囲気でした。第2部は身近な問題なのにほとんど知らないことがわかりました。第3部は来賓講師含む全員参加は来賓との距離感が減少し、より盛り上がりしました。



会長のご挨拶をいただき、大会議長・岡本修さん（東

京航空計器）の議事進行で24年度経過、決算報告、新年度の活動方針、予算、役員一部交代について審議しました。提案された主な活動方針は、①会員拡大への取り組み10%拡大を目標に現役と連携を強化し4地協OB会と積極的な交流を推進。②会員相互の交流を深める活動「東京街歩き」の年2回程度の開催。③政策制度要求への取り組み「安心できる年金・医療・介護」の確立。マイナンバーに紐づけによる健康保険証の廃止、置き換えには反対。④政策実現活動の取組み「郡山りよう」当選に向けて活動の推進。⑤学習会の開催。⑥千葉シニアクラブとの交流。

〈裏面へ続く〉

主張



過日行われた、衆議院議員選挙は与党の自民、公明の過半数割れと、立憲と国民民主の躍進で終わりました。我々が支持する両党の躍進は大変喜ばしいことではありません。今後の活躍に大いに期待します。また、来年は参議院議員の選挙が行われます。我々が候補として送り出した「郡山りよう」をなんととしても勝たせなければなりません。全員の力で勝利に向けて頑張りましょう。

また、イスラエルによるガザへの戦闘も益々激しさを増しています。そこへイランの攻撃により報復も止む気配がありません。益々戦争の拡大が予想されます。中東の戦争が続けば、世界戦争になる懸念が心配されます。しかしながら、それを止めるべき国連の機能が全くと言っていいくらい機能しておりません。一日も早く国連が介入して紛争を止める

世界平和に向けて

神奈川シニア会長 飯田耕治郎

努力を期待します。中国も東シナ海の領有権を主張してアジアの諸国と衝突しています。大国の威厳を傘に着て自分のものとする主張を許してはいけません。また、中国は台湾周辺に軍艦を派遣して威嚇しています。台湾有事の際は、日本も巻き込まれることが予想されます。中国に自制を求めます。

過日行われた、アメリカ大統領選挙は、共和党のトランプ氏が当選しました。元大統領の再選で世界が大きく変わることが予想されます。経済的には日本も影響を受けることが考えられます。いづれにしても世界が平和になるような行動を求めます。

最後に、この世界が平和でみんなが幸せな生活が送られるよう願っています。



群馬

定期総会を開催

鈴木英二 事務局長

JAM群馬シニアクラブ第22回定期総会が10月3日、前橋市「群馬県勤労福祉センター」で開かれました。総会では、中川文雄会長が

「表面より続く」活動方針、予算、役員一部交代を満場一致で承認し岩本副会長の「がんばろう」で総会を締め括りました。総会の前に「終活に向けて心構え、準備」と題した学習会を東京都消費者総合センターの待鳥美津子さんより講演を受けました。身近な事なのに、知らない事ばかりで、皆さん熱心に聞き入っていました。第2弾も開催して欲しいとの意見も聞かれました。

また、総会終了後の研修会では、「お薬なんでも相談」をテーマに「高齢者が気を付けたい多すぎる薬と副作用」などについて研修を行いました。

埼玉

定期総会を開催

小泉茂 事務局長

JAM埼玉シニアクラブ第24回定期総会が10月26日14時から「東天紅JACK大官店」にて開催し、参加者は会員、役員合わせて31名でした。来賓にJAM埼玉今井会長、JAMシニアク

ラブ大山会長、埼玉シニア連合・橋詰会長の三氏に同席を頂き、ご祝辞を頂戴いたしました。



愛知

定期総会を開催

澤山棋正 事務局長

10月26日名古屋「ワークライフプラザ・れある」で愛知シニアクラブの第24回定期総会が、来賓四名と役員を含め35名の参加で開催しました。逝去された会員に黙とうを捧げた後、吉田会長から気候変動を原因とする大規模災害に対する備えと健康寿命を長くするためのセルフケアの必要性が強調され、この二つを国家的規模で支え、安心・安全な社会づくりのための政策制度の取組みこそ不可欠であると強調されました。

総会では報告事項として24年度一般活動報告、会計報告、監査報告がされ承認されました。審議事項では第一号議案25年度活動計画、第二号議案25年度会計予算、第三号議案役員補充について提案され、活発な意見交換ののち全て承認されました。その後、特別決議として参議院選挙「郡山りょう」必勝決議が力強く提案され承認されました。



続いて来賓のJAMシニアクラブ大野事務局長から、活動の柱として会員拡大の推進、政策制度の取組みを上げ、実現手段として郡山

JAM東海の常川副委員長からは、シニア担当として引き続きバックアップすること、大嶽りえさんへの支援が訴えられました。

活動の柱として会員拡大の推進、政策制度の取組みを上げ、実現手段として郡山

「結成以来単組のシニア組織を維持してきたが、世話役的な担い手がいなくなつたこともあり、シニア組織の存在感が希薄となり、消滅する危機を迎えている。どうしたらいいか、見解を示してもいいか」という切実な声が上がりました。

吉田会長からは一例として介護の問題はリタイア後の問題ではなく、40台後半からの現役の労働者の問題であり、介護離職や介護離婚問題に対処できる知見と経験を持つ柱として取組んで行くという見解が示されました。

こおりやま **郡山りょう**

◆郡山りょう3つの政策
「ものづくり」「中小」を基盤とした
くにづくり
公正で安心できる
価値を認めあう社会
働く者の尊厳を守る
ワークルール

日々の活動は
SNSで発信中!

Instagram, YouTube, Facebook icons

こちらからアクセス